

令和4年度 第1回千曲市地域公共交通活性化協議会 会議概要

期 日：令和4年6月22日（水）午後2時00分～午後4時00分  
場 所：ことぶきアリーナ千曲 会議室  
出席者：委員出席21名（4名欠席）、事務局3名

4. 会議事項

(1) 令和3年度千曲市地域公共交通活性化協議会決算報告について

令和3年度千曲市地域公共交通活性化協議会決算報告について、事務局より説明。

<拍手多数で承認>

(2) 令和3年度千曲市地域公共交通状況報告について

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(村山委員) 市内幹線軸、地域交通軸、フィーダーとは何か。また、1便あたり利用者数の目標値はどのように決めたのか。

(事務局) 市内幹線軸は主に市内中心部を運行し、鉄道駅などと接点をもつもの。地域交通軸は市内の各地域から市中心部へ運行をするもの。フィーダーは各地域内で運行が完結するもの。フィーダーとは「枝」を意味する言葉であり、市内幹線軸に接続をし、乗り換えることで市内中心部へ移動することができる。地域交通軸は目的地までの乗車時間が長くなってしまいう面がある。

1便あたり利用者数の目標値は、平成30年度に策定した千曲市地域公共交通網形成計画の中で、限られた資源を有効活用し公共交通を維持していくための観点から設定をした。

(金子委員) お客様から停留所の時刻表が汚れて見にくいと言われている。

(事務局) 対応させていただく。

(新井委員) 千曲市の公共交通を考えるうえで、広域幹線となるしなの鉄道、JR市内駅での乗降客数を示していただきたい。

(事務局) 各社に依頼をし、公開できる点は公開したい。

(3) 地域間幹線系統確保維持計画について

地域間幹線系統確保維持計画について長電バス鈴木部長より説明。

<拍手多数で承認>

(4) 千曲市地域内フィーダー系統確保維持計画について

千曲市地域内フィーダー系統確保維持計画について、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(村山委員) 議会だよりで、北川原議員がデマンド型乗合タクシーを「市内全域」、「自宅から目的地」へと運行を見直すように一般質問で述べたというが、事務局とし

ての見解は。

(事務局) 他からも様々な意見を頂いている。この後の会議事項(7)で議題としたい。

(東海林委員) 他自治体でのデマンド型乗合タクシーの成功事例を紹介していただきたい。

<拍手多数で承認>

(8) MaaS 実証実験について (順番入れ替わり)

6/23-6/25 実証実験について、(株)ふろしきや、MaaS Tech Japan(株)より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(新井委員) こうした取り組みで収集される乗降データを、行政として施策に展開していくつもりはあるか。

(事務局) 公共交通の改善には、データに基づいた議論が重要と考えている。

(新井委員) 今回の実証実験で得られたデータは公開をしていただきたい。

(田村様) データは公開するつもりである。

(5) 交通安全上問題と思われるバス停について

交通安全上問題と思われるバス停について、事務局より説明。

(6) おばすて棚田便・温泉観光便について

おばすて棚田・温泉観光便について、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(東海林委員) 令和2年度に土曜運行を廃止した理由は、広報などはしていたのか。また、平日に同じ目的地へ行ける路線はあるか。

(事務局) 土曜運行を廃止した理由は、利用者が伸びなかったため。広報などは特にしていない。平日は更級戸倉線で代替できる。

(新井委員) 更埴観光タクシーとしては、UD (エバーサルドザイン) タクシーでの観光タクシーを立ち上げようと考えている。ルートは長野駅、上田駅から姨捨までである。市の観光部門とも連携していく。

(7) 新規デマンド交通について

新規デマンド交通について、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(新井委員) 市内タクシー事業者とすると、デマンド交通を含めたフィーダー地域を増やしていくことはありがたい。ただ、日本全国でデマンドが広がる中、タクシー事業者がその地域から撤退している事例もある。バス事業者にも影響があると考え。計画に則ってフィーダー地域を増やしていくのも分かるが、全体を見渡して千曲市全体の公共交通を考えていく必要がある。理事者の政策展望が一つの議論の材

料になると考える。今回、千曲市議会から市長へ提言書が出ている。視察を行ったとあるが、実際に市内運行業者には話を聞いていないのではないか。新規デマンドを検討するにあたり、分科会を設置することには賛成する。その際には、市内タクシー事業者を委員に入れていただきたい。

(事務局) 市の施策として、理事者が公共交通をどう考えているのかを加味しながら進めていく必要があると考える。タクシー事業者にも声をかけていきたい。

(村山委員) 今後、千曲市が高齢化していく中でバス利用者が困らないようにしていきたい。今のバス路線は乗り換えが必要になるなど使いづらい。例えば、スーパーだけを回る路線、病院だけを回る路線などを設けるのはどうか。今は高齢者でもスマホを持っている人が増えてきている。先ほど話のあった MaaS など活用していけばバスの利便性は高まると思う。

(事務局) 様々な意見を頂いた。7,8月にも第1回目の分科会を開催したいと思う。

## 5. その他

(金子委員) 大田原線で、樹木の枝で運行に支障が出ている。伐採していただきたい。

(事務局) 関係部署と連携をとりながら対応していく。

(事務局) 市議会から市長へ提言書が提出された。皆様と共有させていただき、ご協議いただけるようお願いする。

(竹内委員) 補足させていただく。福祉環境常任委員会の中で、デマンド交通に対する所管課としての考えを伝えている。現計画のある中でできる範囲内で導入地域を検討していきたいと話している。次期計画を来年度策定していく必要があり、その中で皆様にご審議していただきたいため、ご協力をお願いする。